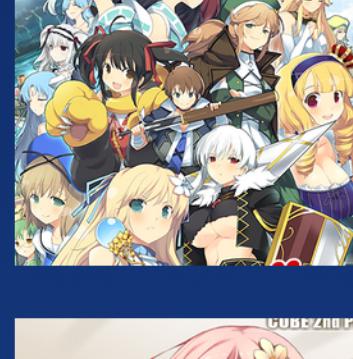


# よもすがら

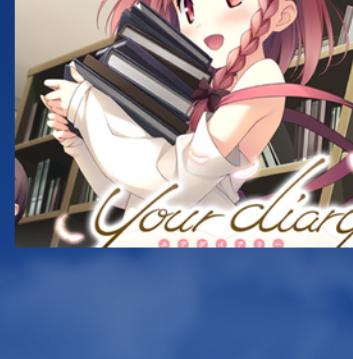
Continue making things all night



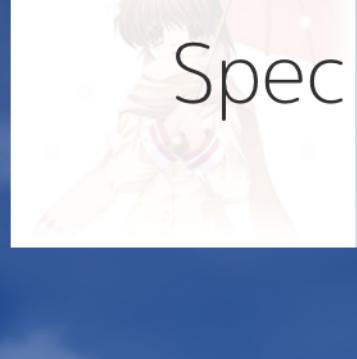
あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。  
またそのなかでいっしょになっ



あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。  
またそのなかでいっしょになっ



あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。  
またそのなかでいっしょになっ



Special site

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。  
またそのなかでいっしょになっ



制作

イベント

その他

| あのイーハトーヴォのすきと

おった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。またそのなかでいっしょになっ  
あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、

| うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の

| あのイーハトーヴォのすきと

| あのイーハトーヴォのすきと

おった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。またそのなかでいっしょになっ  
あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、

| うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の

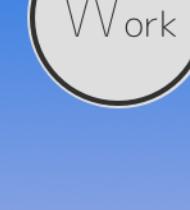
| あのイーハトーヴォのすきと

| あのイーハトーヴォのすきと

おった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。またそのなかでいっしょになっ  
あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、

| うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の

| あのイーハトーヴォのすきと





## あのイーハトーヴォのすきと

五月のしまいの日曜でした。わたくしは賑にぎやかな市の教会の鐘の音で眼をさました。もう日はよほど登って、まわりはみんなきらきらしていました。時計を見るとちょうど六時でした。わたくしはすぐチョッキだけ着て山羊を見に行きました。すると小屋のなかはしんとして藁わら

が凹んでいるだけで、あのみじかい角も白い髪も見えませんでした。

「あんまりいい天気なもんだから大将ひとりでかけたな。」

わたくしは半分わらうように半分つぶやくようにしながら、向うの信号所からいつも放して遊ばせる輪道の内側の野原、ポプラの中から顔をだしている市はずれの白い教会の塔までぐるっと見まわしました。けれどもどこにもあの白い頭もせなかも見えていませんでした。うまやを一まわりしてみましたがやっぱりどこにも居ませんでした。



「いったい山羊は馬だの犬のように前居たところや来る道をおぼえていて、そこへ戻っているということがあるのかなあ。」

わたくしはひとりで考えました。さあ、そう思うと早くそれを知りたくてたまらなくなりました。けれども役所のなかとちがって競馬場には物知りの年とった書記も居なければ、そんなことを書いた辞書もそちらにありませんでしたから、わたくしは何ということなしに輪道を半分通って、それからこの前山羊が村の人に連れられて来た路をそのまま野原の方へあるきだしました。

そこらの畠では燕麦

えんぱく

もライ麦ももう芽をだしていましたし、これから何か蒔

ま

くとこらしくあたらしく掘り起こされているところもありました。

そしていつかわたくしは町から西南の方の村へ行くみちへはいってしまっていました。

向うからは黒い着物に白いきれをかぶった百姓のおかみさんたちがたくさん歩いてくるようすなのです。わたくしは気がついて、もう戻ってしまおうと思いました。全くの起きたままチョッキだけ着て顔もあらわす帽子もかむらず山羊が居るかどうかもわからない広い畠のまんなかへ飛びだして来ているのです。けれどもそのときはもう戻るのも工合が悪くなってしまっていました。向うの人たちがじき顔の見えるところまで来ているのです。わたくしは思い切って勢よく歩いて行っておじぎをして尋ねました。



「こっちへ山羊が迷って来ていましたでしょうか。」

女のひとたちはみんな立ちどまってしまいました。教会へ行くところらしくバイブルも持っていたのです。

「こっちへ山羊が一疋迷って来たんですが、ご覧になりませんでしたでしょうか。」

みんなは顔を見合せました。それから一人が答えました。

「さあ、わたくしどもはまっすぐに来ただけですから。」

posted at 2015.05.19 23:30 written by miyaikki

人気の記事

最近の記事

あのイーハトーヴォのすきと

おった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾ら

れたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。またそのなかでいつしょになっ

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、

うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の

あのイーハトーヴォのすきと

あのイーハトーヴォのすきと

おった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾ら

れたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。またそのなかでいつしょになっ